

## 4.2 騒音

### 4.2.1 現地調査

#### 1) 調査項目

調査項目は表 4.2.1 に示すとおりである。

表 4.2.1 調査項目

項目		内容
一般環境騒音	騒音レベル	・時間率騒音レベル(L <sub>5</sub> 、L <sub>50</sub> 、L <sub>95</sub> 、L <sub>max</sub> ) ・等価騒音レベル(L <sub>Aeq</sub> )
自動車交通騒音	騒音レベル	・時間率騒音レベル(L <sub>5</sub> 、L <sub>50</sub> 、L <sub>95</sub> 、L <sub>max</sub> ) ・等価騒音レベル(L <sub>Aeq</sub> )
	交通量等	・時間別方向別交通量(小型車、大型車、運搬車両) ・走行速度

#### 2) 調査地点

調査地点は表 4.2.2 及び図 4.2.1 に示す地点とした。

一般環境騒音の調査地点は、建設地の1地点とした。自動車交通騒音の調査地点は、運搬車両が走行したルート沿道地点とした。

表 4.2.2 騒音・振動調査地点

項目	調査地点	備考	
騒音	一般環境騒音	SV.1 建設地	
	自動車交通騒音、交通量等	SV.2	搬入ルートとして想定 道道75号と道道214号交差点の西側
		SV.3	搬入ルートとして想定 道道75号と道道214号交差点の東側、事業建設地の西側
		SV.4	搬入ルートとして想定 道道75号沿い、事業建設地の東側
		SV.5	搬入車両の退出ルートとして想定

#### 3) 調査期間

調査期間は表 4.2.3 に示すとおりである。

調査は虫などの鳴き声による影響が少ない上、積雪前の秋季に実施した。

表 4.2.3 調査期間

項目	調査期間		備考	
騒音	一般環境騒音	SV.1	令和3年11月16日(火)0時~24時	24時間とした。
	自動車交通騒音、交通量	SV.2	令和3年11月16日(火)0時~24時	搬入時間は日中(8時~17時)となる。ただし、補足として交通量調査も含め24時間とした。
		SV.3		
		SV.4		
		SV.5		

#### 4) 調査方法

調査方法は表 4.2.4 に示すとおりである。

表 4.2.4 調査方法

項目	細項目	調査手法	備考
騒音	騒音レベル	マイクロホンを測定位置の地上 1.2m 高さに設置し、マイクロホンと接続したケーブルを JIS C 1509 に定める積分型普通騒音計に接続し、データの記録を行う。測定時の周波数補正特性は、人間の耳による聞こえ方と同じ周波数補正である A 特性補正、動特性は Fast とした。	「騒音に係る環境基準について」(平成 10 年 9 月 30 日環境庁告示第 64 号) 及び JIS Z 8731 (環境騒音の表示・測定方法)。
交通量	交通量	上下車線別・車種別(小型車類、大型車類、廃棄物運搬車両)の交通量について、マニュアルカウンターを用いて、調査員が目視により観測した方法とした。	—
	走行速度	一定区間を走行した車両の通過時間をストップウォッチを用いて測定して算出した。調査対象は、各時間 10 台とした。	—

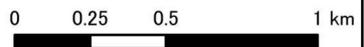


凡例

-  市町界
-  建設地
-  環境騒音・振動調査地点
-  道路沿道騒音・振動・交通量調査地点
-  道路沿道騒音・振動調査地点
-  交通量調査地点



S = 1:25,000



この地図は、「電子地形図(タイル)」(国土地理院)を使用し、株式会社日本技術開発が編集・加工したものである。

図 4.2.1 調査地点位置図 (騒音・振動・交通量)

## 5) 調査結果

### ① 一般環境騒音

等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) の調査結果は、表 4.2.5 に示すとおりである。

調査地点は騒音に係る環境基準の地域の類型に指定されていないが、参考として、C 類型（相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域）の一般地域における騒音に係る環境基準と比較した。調査結果は環境基準を満足した。

騒音レベルの 90%レンジの上端値 ( $L_5$ ) の調査結果は、表 4.2.6 に示すとおりである。

調査地点は騒音規制法の規制地域に指定されていないが、参考として、第 4 種区域の特定工場等において発生する騒音の規制基準と比較した。調査結果は規制基準を満足した。

また、時間ごとの調査結果は、表 4.2.7 及び図 4.2.2 に示すとおりである。

表 4.2.5 一般環境騒音の調査結果表（環境基準との比較）

単位：dB

調査地点 \ 項目	時間区分	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )	参考値
SV.1 (建設地)	昼間 (6 時～22 時)	51.5	60 以下
	夜間 (22 時～6 時)	45.9	50 以下

注) 建設地は騒音に係る環境基準の地域の類型に指定されていないが、参考として、C 類型（相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域）の一般地域における騒音に係る環境基準を示した。

表 4.2.6 一般環境騒音の調査結果表（騒音規制法との比較）

単位：dB

調査地点 \ 項目	時間区分	騒音レベルの 90%レンジの上端値 ( $L_5$ )	参考値
SV.1 (建設地)	朝 (6 時～8 時)	54	65 以下
	昼間 (8 時～19 時)	56	70 以下
	夕 (19 時～22 時)	53	65 以下
	夜間 (22 時～6 時)	51	60 以下

注) 建設地は騒音規制法の規制地域に指定されていないが、参考として、第 4 種区域の特定工場等において発生する騒音の規制基準を示した。

表 4.2.7 一般環境騒音調査結果 (SV.1)

単位：dB

時間帯	騒音レベル				
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>Aeq</sub>
0:00	50.8	36.3	33.5	62.0	43.7
1:00	51.5	36.4	33.8	60.4	44.2
2:00	49.9	37.2	34.3	64.7	44.0
3:00	50.2	39.6	36.1	59.5	44.1
4:00	51.8	42.5	37.5	63.8	46.2
5:00	55.8	48.6	41.5	62.9	50.7
6:00	54.5	49.2	44.0	60.7	50.4
7:00	53.4	49.7	46.2	58.0	50.3
8:00	53.1	47.8	43.8	61.3	49.2
9:00	52.2	47.1	41.9	57.9	48.2
10:00	54.9	49.0	42.0	60.9	50.5
11:00	56.0	50.4	44.7	63.7	51.7
12:00	57.1	50.2	43.4	69.2	52.4
13:00	56.7	51.6	46.1	63.8	52.7
14:00	58.1	53.3	47.6	64.0	54.2
15:00	57.5	52.8	47.4	71.0	54.0
16:00	57.8	53.0	48.1	69.2	54.3
17:00	56.0	51.0	47.1	62.4	52.1
18:00	55.5	50.1	45.7	62.1	51.4
19:00	54.4	47.4	41.1	61.6	49.6
20:00	52.8	43.9	36.9	61.7	47.2
21:00	51.5	41.2	37.2	63.1	45.9
22:00	50.6	40.6	37.1	57.5	44.5
23:00	49.2	39.1	35.6	61.5	43.4

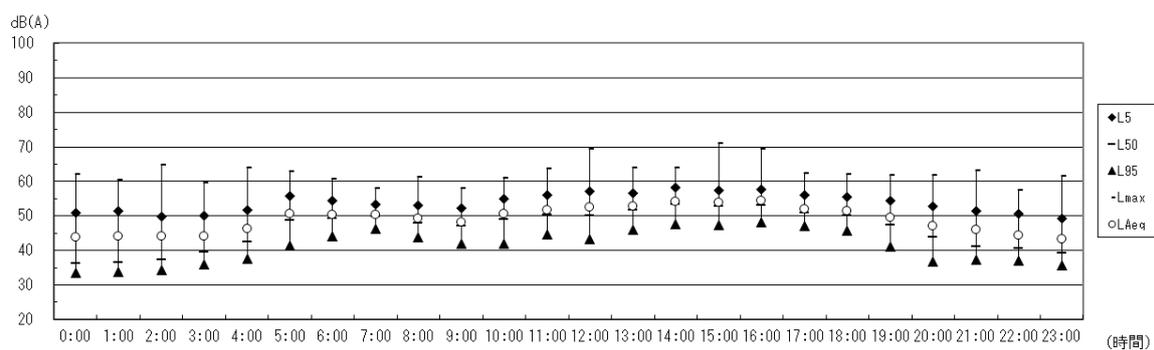


図 4.2.2 一般環境騒音調査結果 (SV.1)

## ② 自動車交通騒音

等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) の調査結果は、表 4.2.8 に示すとおりである。

調査地点は、いずれも騒音に係る環境基準の地域の類型及び騒音規制法の規制地域の指定はないが、参考として環境基準及び騒音規制法に基づく要請限度との比較を行った。

SV.2～SV.4 は道道に面するため、「幹線交通を担う道路に近接する空間における騒音に係る環境基準」を参考値とした。SV.5 は2車線の市道に面するため、「B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及びC地域のうち車線を有する道路に面する地域」の道路に面する地域における騒音に係る環境基準を参考値とした。

SV.2～SV.4 は道道に面するため、「幹線交通を担う道路に近接する区域」の要請限度を参考値とした。SV.5 は2車線の市道に面するため、「b区域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する区域及びc区域のうち車線を有する道路に面する区域」の要請限度を参考値とした。

SV.2 と SV.5 については、環境基準・要請限度をともに満足した。SV.3 と SV.4 については、環境基準を超過したが、要請限度は満足した。

また、時間ごとの調査結果は、表 4.2.9 及び図 4.2.3 に示すとおりである。

表 4.2.8 自動車交通騒音の調査結果表（環境基準及び要請限度との比較）

単位：dB

調査地点 \ 項目	時間区分	等価騒音 レベル ( $L_{Aeq}$ )	参考値① (環境基準)	参考値② (要請限度)
SV.2	昼間	69.3	70 以下	75 以下
	夜間	62.6	65 以下	70 以下
SV.3	昼間	74.6	70 以下	75 以下
	夜間	68.3	65 以下	70 以下
SV.4	昼間	71.9	70 以下	75 以下
	夜間	65.4	65 以下	70 以下
SV.5	昼間	60.6	70 以下	75 以下
	夜間	44.2	65 以下	70 以下

注) 網掛けは参照値①（環境基準）を超過した値。

表 4.2.9(1) 自動車交通騒音調査結果 (SV.2)

単位：dB(A)

時間帯	騒音レベル				
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>Aeq</sub>
0:00	58.1	44.4	32.6	89.3	60.6
1:00	58.2	34.2	31.1	87.2	60.6
2:00	57.1	34.0	30.1	85.2	59.6
3:00	54.3	33.1	29.1	84.4	57.3
4:00	66.3	40.3	33.0	88.3	63.0
5:00	76.1	54.1	41.3	88.5	68.5
6:00	76.1	58.8	45.8	86.7	69.1
7:00	77.1	63.3	50.9	88.3	70.5
8:00	77.7	61.2	47.4	89.3	70.5
9:00	77.9	60.2	47.2	89.0	70.5
10:00	78.2	59.8	44.4	87.3	70.5
11:00	78.5	59.3	46.0	89.0	70.8
12:00	76.2	56.2	43.4	89.0	68.9
13:00	78.1	59.7	47.4	87.9	70.5
14:00	78.1	60.5	48.6	90.2	70.7
15:00	78.2	61.8	47.0	88.2	70.8
16:00	77.4	61.5	45.9	89.5	70.4
17:00	74.0	61.0	45.2	88.4	68.2
18:00	71.5	55.5	40.9	86.8	66.0
19:00	70.5	49.7	33.4	88.3	64.3
20:00	68.1	44.8	33.6	82.8	61.7
21:00	67.4	41.4	33.3	89.0	63.0
22:00	61.4	38.4	34.0	86.3	60.3
23:00	58.4	36.8	34.1	83.6	58.6

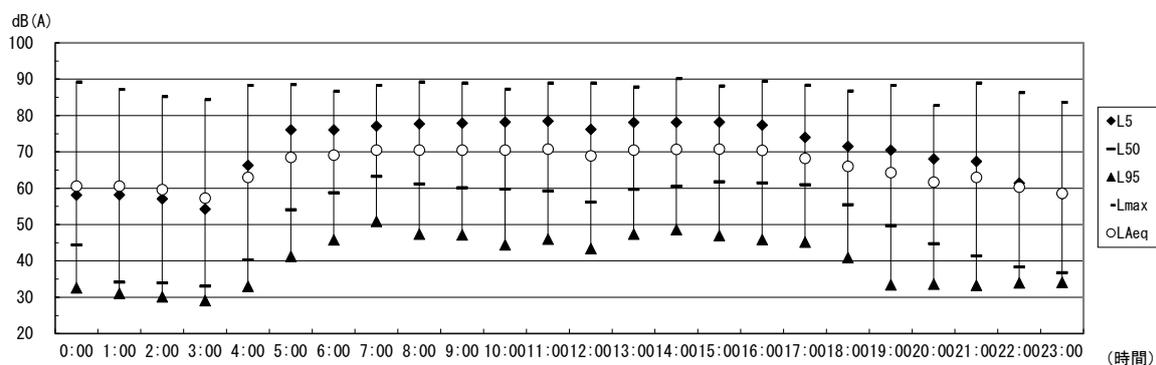


図 4.2.3(1) 自動車交通騒音調査結果 (SV.2)

表 4.2.9(2) 自動車交通騒音調査結果 (SV.3)

単位：dB(A)

時間帯	騒音レベル				
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>Aeq</sub>
0:00	64.5	36.4	28.2	91.5	64.8
1:00	67.1	34.7	27.3	92.1	66.2
2:00	68.2	40.8	28.0	89.6	65.3
3:00	69.9	44.7	29.7	90.5	67.1
4:00	74.5	54.5	32.6	90.7	69.7
5:00	80.6	63.3	45.9	92.1	73.6
6:00	81.1	66.1	50.9	95.1	74.6
7:00	82.4	71.0	56.7	96.6	76.1
8:00	82.7	70.5	52.9	93.7	75.9
9:00	83.0	69.6	52.3	92.8	76.1
10:00	82.6	68.7	51.4	92.6	75.8
11:00	82.4	67.2	51.0	94.8	75.6
12:00	81.2	63.9	49.9	92.2	74.1
13:00	82.2	67.4	51.6	93.7	75.4
14:00	82.8	68.8	53.4	93.2	75.9
15:00	82.4	69.4	54.9	93.7	75.8
16:00	81.8	69.5	54.2	92.4	75.3
17:00	80.1	69.1	52.6	90.8	74.0
18:00	78.2	65.1	49.4	91.3	72.2
19:00	76.5	57.8	40.5	90.5	70.0
20:00	74.0	53.2	38.1	92.5	68.0
21:00	73.3	51.0	34.2	91.6	68.5
22:00	69.0	46.4	31.9	89.6	65.6
23:00	67.4	40.1	30.3	91.9	64.7

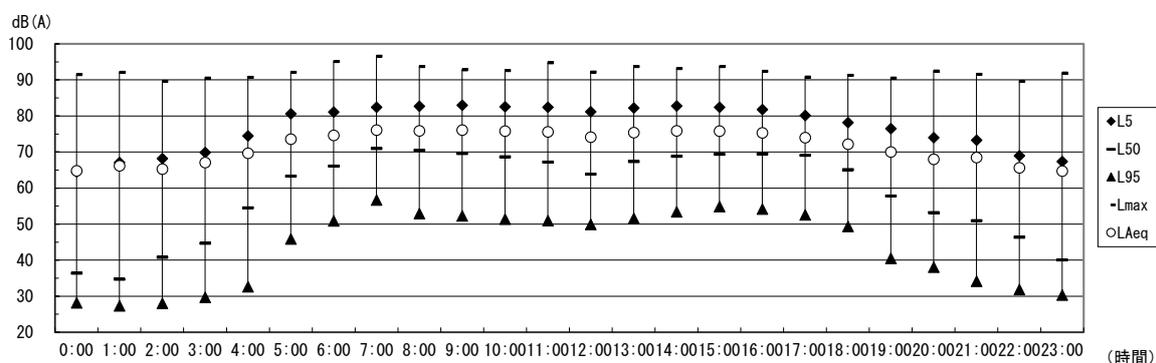


図 4.2.3(2) 自動車交通騒音調査結果 (SV.3)

表 4. 2. 9(3) 自動車交通騒音調査結果 (SV. 4)

単位：dB(A)

時間帯	騒音レベル				
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>Aeq</sub>
0:00	63.0	35.7	27.5	88.2	62.2
1:00	63.6	35.3	27.6	86.4	62.8
2:00	63.9	37.3	27.7	84.8	62.2
3:00	66.6	40.0	28.6	90.7	63.8
4:00	73.2	47.2	36.8	88.4	66.4
5:00	78.0	59.1	45.3	89.8	70.8
6:00	78.1	63.4	48.7	88.0	71.5
7:00	78.5	70.8	55.7	89.5	73.2
8:00	78.7	68.8	50.2	89.5	72.8
9:00	80.0	67.7	50.2	88.4	73.3
10:00	79.8	66.2	49.2	89.5	73.0
11:00	79.2	65.7	48.4	94.5	72.6
12:00	78.8	63.0	46.5	88.2	71.8
13:00	79.6	66.9	49.3	87.2	73.0
14:00	79.9	67.9	51.1	89.8	73.3
15:00	79.7	68.0	53.1	87.7	73.1
16:00	79.3	68.5	51.6	90.0	72.9
17:00	77.5	66.3	53.6	87.3	71.5
18:00	75.7	63.9	49.1	87.0	69.9
19:00	74.3	57.8	41.6	86.2	67.8
20:00	72.8	52.2	38.2	85.2	65.6
21:00	72.0	47.9	35.6	86.6	65.5
22:00	67.4	43.7	33.9	89.9	62.8
23:00	65.9	39.1	31.7	85.1	62.3

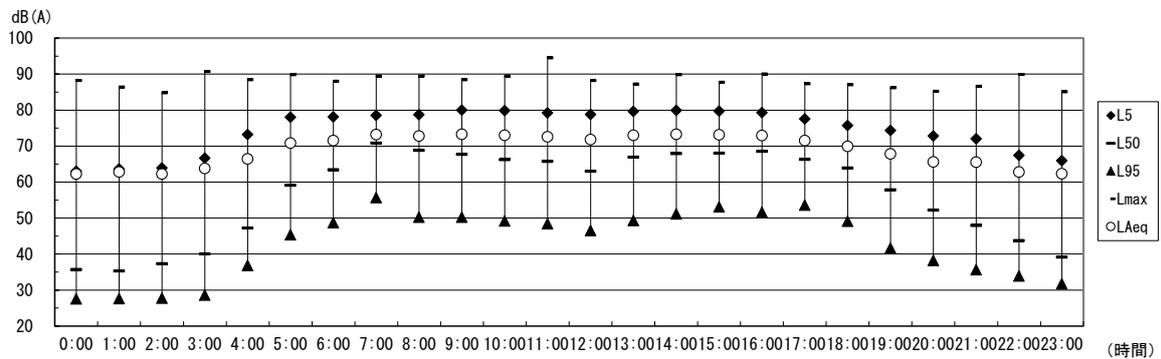


図 4. 2. 3(3) 自動車交通騒音調査結果 (SV. 4)

表 4.2.9(4) 自動車交通騒音調査結果 (SV.5)

単位：dB(A)

	騒音レベル				
	L <sub>5</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>95</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>Aeq</sub>
0:00	48.9	36.7	33.4	61.1	42.2
1:00	48.5	36.0	33.3	59.5	41.8
2:00	47.5	36.7	33.9	62.0	41.8
3:00	47.2	38.9	35.4	56.8	41.9
4:00	49.2	41.0	37.1	74.9	45.0
5:00	52.2	46.3	41.1	79.2	48.8
6:00	54.6	47.9	43.4	86.8	57.0
7:00	71.7	50.8	46.2	85.1	64.7
8:00	70.8	47.3	42.9	90.4	64.6
9:00	60.1	46.0	41.5	88.7	60.1
10:00	61.0	48.5	42.4	87.5	61.3
11:00	57.8	50.3	45.3	88.6	60.4
12:00	60.8	51.0	44.4	90.7	60.6
13:00	60.4	51.9	46.7	89.4	59.5
14:00	61.7	53.2	48.7	89.2	62.4
15:00	63.0	51.9	47.1	88.3	61.7
16:00	61.5	52.0	47.4	86.5	61.1
17:00	60.8	50.6	46.5	87.6	60.6
18:00	55.6	48.8	44.3	89.5	57.4
19:00	53.4	46.1	40.4	82.1	53.4
20:00	52.1	42.2	36.3	82.2	51.9
21:00	49.2	39.7	36.5	83.3	49.6
22:00	49.2	40.1	36.9	56.3	43.4
23:00	47.6	38.8	35.7	59.5	42.2

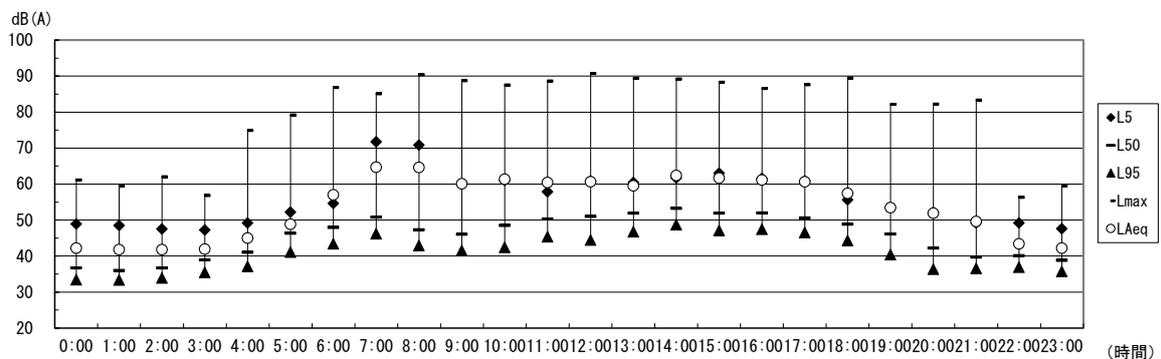


図 4.2.3(4) 自動車交通騒音調査結果 (SV.5)

### ③ 交通量等

#### ア. 交通量

交通量の調査結果の概要を表 4.2.10 及び図 4.2.4、詳細を表 4.2.11 及び図 4.2.5 に示す。

交通量は、帯広新得線で 4,874 台/日 (SV.2) ～9,360 台/日 (SV.4)、中島・2 号線で 554 台/日 (SV.5) であった。

昼間 12 時間の大型車混入率は、帯広新得線で 34% (SV.4) ～36% (SV.2)、中島・2 号線で 39% (SV.5) であった。

24 時間の大型車混入率は、帯広新得線で 40% (SV.3) ～58% (SV.4)、中島・2 号線で 26% (SV.5) であった。

表 4.2.10 交通量調査結果 (全地点概要)

地点	時間帯	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注1)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注2)</sup>	全車種 交通量	大型車 混入率 <sup>注3)</sup>
		台/時	台/時	台/時	台/時	%
SV.2	昼間 12 時間	2,744	1,689	4	4,437	36
	24 時間	2,947	1,923	4	4,874	50
SV.3	昼間 12 時間	5,065	2,735	67	7,867	35
	24 時間	5,624	3,102	67	8,793	40
SV.4	昼間 12 時間	5,799	2,890	74	8,763	34
	24 時間	5,979	3,307	74	9,360	58
SV.5	昼間 12 時間	380	46	96	522	39
	24 時間	411	47	96	554	26

注 1) 廃棄物運搬車両を除く大型車交通量を示す。

注 2) 廃棄物運搬車両は目視で一般廃棄物のパッカー車として区別した車両を示す。

注 3) 大型車混入率は次式で求めた： $(\text{大型車交通量} + \text{廃棄物運搬車両交通量}) \div \text{全車種交通量} \times 100$ 。



図 4.2.4 交通量調査結果 (全地点概要)

表 4.2.11(1) 交通量調査結果 (SV.2)

時間帯 <sup>注1)</sup>	至 新得町 (西方向行き; 下り線)			至 帯広市街地 (東方向行き; 上り線)			上下線合計				
	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	全車種 交通量	大型車 混入率 <sup>注4)</sup>
	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	%
0 時台	0	5	0	1	4	0	1	9	0	10	90
1 時台	1	4	0	0	7	0	1	11	0	12	92
2 時台	0	8	0	0	2	0	0	10	0	10	100
3 時台	1	3	0	0	3	0	1	6	0	7	86
4 時台	1	9	0	5	6	0	6	15	0	21	71
5 時台	5	47	0	2	13	0	7	60	0	67	90
6 時台	27	33	0	12	35	0	39	68	0	107	64
7 時台	206	167	0	105	98	0	311	265	0	576	46
8 時台	183	75	0	151	75	0	334	150	0	484	31
9 時台	111	83	0	120	83	0	231	166	0	397	42
10 時台	108	101	0	103	74	0	211	175	0	386	45
11 時台	99	81	0	116	79	1	215	160	1	376	43
12 時台	83	59	0	96	55	0	179	114	0	293	39
13 時台	104	97	0	105	77	0	209	174	0	383	45
14 時台	116	81	1	98	89	0	214	170	1	385	44
15 時台	121	68	2	94	72	0	215	140	2	357	40
16 時台	98	42	0	146	67	0	244	109	0	353	31
17 時台	90	15	0	160	28	0	250	43	0	293	15
18 時台	46	14	0	85	9	0	131	23	0	154	15
19 時台	34	8	0	33	7	0	67	15	0	82	18
20 時台	20	2	0	19	8	0	39	10	0	49	20
21 時台	12	4	0	9	12	0	21	16	0	37	43
22 時台	7	2	0	5	6	0	12	8	0	20	40
23 時台	4	2	0	5	4	0	9	6	0	15	40
昼間12時間 <sup>注5)</sup>	1,365	883	3	1,379	806	1	2,744	1,689	4	4,437	36
24時間 <sup>注5)</sup>	1,477	1,010	3	1,470	913	1	2,947	1,923	4	4,874	50

注1) 網掛けは自動車交通騒音・振動を測定した昼間12時間に含まれる時間帯を示す。

2) 廃棄物運搬車両を除く大型車交通量を示す。

3) 廃棄物運搬車両は目視で一般廃棄物のパッカー車として区別した車両を示す。

4) 大型車混入率は次式で求めた： $(\text{大型車交通量} + \text{廃棄物運搬車両交通量}) \div \text{全車種交通量} \times 100$ 。

5) 交通量は各時間帯の合計を、大型車混入率は各時間の平均値を示す。

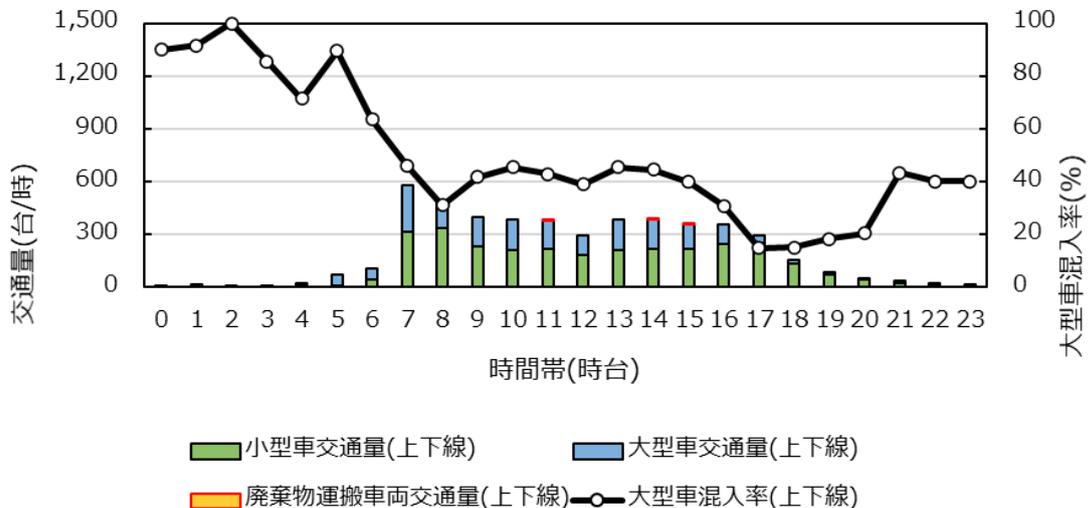


図 4.2.5(1) 交通量調査結果 (SV.2)

表 4. 2. 11(2) 交通量・走行速度調査結果 (SV. 3)

時間帯 <sup>注1)</sup>	至 新得町 (西方向行き; 下り線)			至 帯広市街地 (東方向行き; 上り線)			上下線合計				
	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	全車種 交通量	大型車 混入率 <sup>注4)</sup>
	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	%
0 時台	12	6	0	7	6	0	19	12	0	31	39
1 時台	7	7	0	3	11	0	10	18	0	28	64
2 時台	4	9	0	6	9	0	10	18	0	28	64
3 時台	4	7	0	5	16	0	9	23	0	32	72
4 時台	17	16	0	13	26	0	30	42	0	72	58
5 時台	44	40	0	24	51	0	68	91	0	159	57
6 時台	74	25	0	40	54	0	114	79	0	193	41
7 時台	561	86	0	266	152	2	827	238	2	1,067	22
8 時台	374	120	0	317	140	1	691	260	1	952	27
9 時台	182	150	0	220	144	3	402	294	3	699	42
10 時台	170	169	0	196	115	1	366	284	1	651	44
11 時台	176	140	24	154	123	0	330	263	24	617	47
12 時台	148	107	0	154	69	3	302	176	3	481	37
13 時台	180	163	6	144	114	4	324	277	10	611	47
14 時台	203	159	9	183	137	6	386	296	15	697	45
15 時台	231	158	3	195	135	5	426	293	8	727	41
16 時台	246	142	0	316	116	0	562	258	0	820	31
17 時台	111	41	0	142	24	0	253	65	0	318	20
18 時台	67	21	0	129	10	0	196	31	0	227	14
19 時台	54	15	0	78	11	0	132	26	0	158	16
20 時台	39	5	0	40	9	0	79	14	0	93	15
21 時台	27	9	0	35	7	0	62	16	0	78	21
22 時台	7	6	0	9	7	0	16	13	0	29	45
23 時台	3	7	0	7	8	0	10	15	0	25	60
昼間 12 時間 <sup>注5)</sup>	2,649	1,456	42	2,416	1,279	25	5,065	2,735	67	7,867	35
24 時間 <sup>注5)</sup>	2,941	1,608	42	2,683	1,494	25	5,624	3,102	67	8,793	40

注 1) 網掛けは自動車交通騒音・振動を測定した昼間 12 時間に含まれる時間帯を示す。

2) 廃棄物運搬車両を除く大型車交通量を示す。

3) 廃棄物運搬車両は目視で一般廃棄物のバッカー車として区別した車両を示す。

4) 大型車混入率は次式で求めた：(大型車交通量+廃棄物運搬車両交通量) ÷ 全車種交通量 × 100。

5) 交通量は各時間帯の合計を、大型車混入率は各時間の平均値を示す。

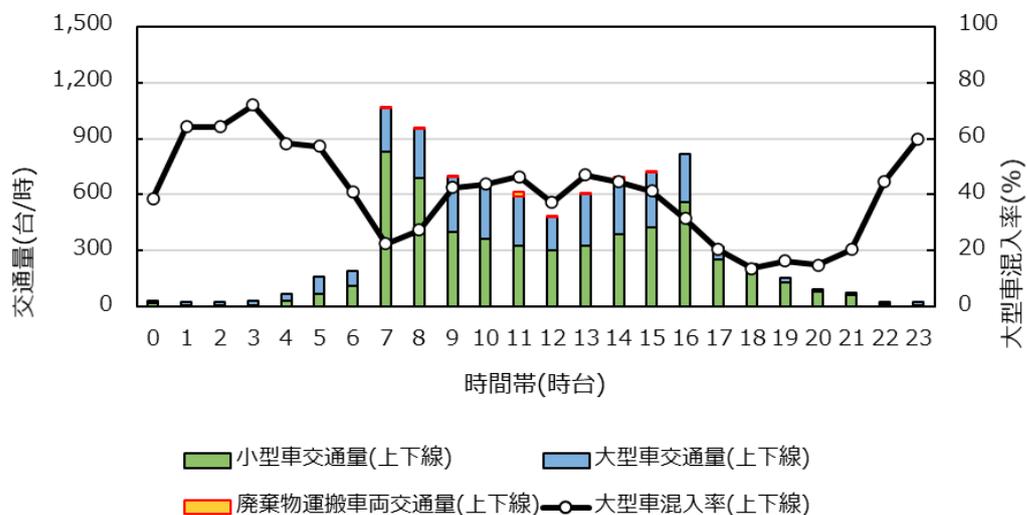


図 4. 2. 5(2) 交通量調査結果 (SV. 3)

表 4.2.11(3) 交通量・走行速度調査結果 (SV. 4)

時間帯 <sup>注1)</sup>	至 新得町 (西方向行き; 下り線)			至 帯広市街地 (東方向行き; 上り線)			上下線合計				
	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	全車種 交通量	大型車 混入率 <sup>注4)</sup>
	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	%
0 時台	0	6	0	0	7	0	0	13	0	13	100
1 時台	0	6	0	0	11	0	0	17	0	17	100
2 時台	0	6	0	0	15	0	0	21	0	21	100
3 時台	1	11	0	3	15	0	4	26	0	30	87
4 時台	11	16	0	1	29	0	12	45	0	57	79
5 時台	13	44	0	1	45	0	14	89	0	103	86
6 時台	64	34	0	25	77	0	89	111	0	200	56
7 時台	755	101	0	299	149	1	1,054	250	1	1,305	19
8 時台	476	110	0	330	157	1	806	267	1	1,074	25
9 時台	200	166	0	249	148	3	449	314	3	766	41
10 時台	182	174	0	217	116	1	399	290	1	690	42
11 時台	187	136	13	181	127	4	368	263	17	648	43
12 時台	165	114	0	180	69	11	345	183	11	539	36
13 時台	204	177	7	157	136	5	361	313	12	686	47
14 時台	221	160	8	206	143	10	427	303	18	748	43
15 時台	255	168	3	234	130	4	489	298	7	794	38
16 時台	262	143	2	328	115	1	590	258	3	851	31
17 時台	230	50	0	141	53	0	371	103	0	474	22
18 時台	51	33	0	89	15	0	140	48	0	188	26
19 時台	25	16	0	14	10	0	39	26	0	65	40
20 時台	12	7	0	3	13	0	15	20	0	35	57
21 時台	3	8	0	3	12	0	6	20	0	26	77
22 時台	0	7	0	0	8	0	0	15	0	15	100
23 時台	1	7	0	0	7	0	1	14	0	15	93
昼間 12 時間 <sup>注5)</sup>	3,188	1,532	33	2,611	1,358	41	5,799	2,890	74	8,763	34
24 時間 <sup>注5)</sup>	3,318	1,700	33	2,661	1,607	41	5,979	3,307	74	9,360	58

注 1) 網掛けは自動車交通騒音・振動を測定した昼間 12 時間に含まれる時間帯を示す。

2) 廃棄物運搬車両を除く大型車交通量を示す。

3) 廃棄物運搬車両は目視で一般廃棄物のバッカー車として区別した車両を示す。

4) 大型車混入率は次式で求めた：(大型車交通量+廃棄物運搬車両交通量) ÷ 全車種交通量 × 100。

5) 交通量は各時間帯の合計を、大型車混入率は各時間の平均値を示す。

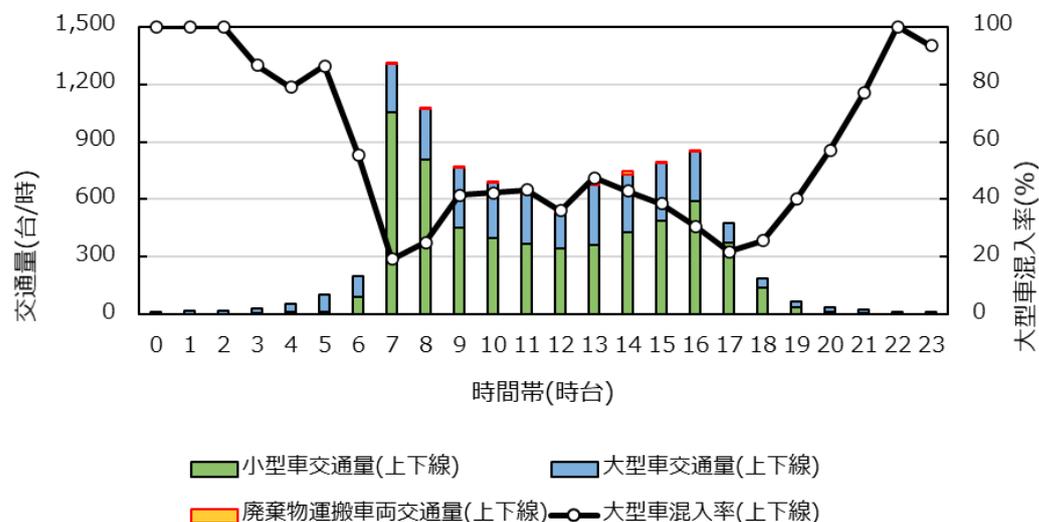


図 4.2.5(3) 交通量調査結果 (SV. 4)

表 4.2.11(4) 交通量・走行速度調査結果 (SV.5)

時間帯 <sup>注1)</sup>	至 新得町 (西方向行き; 下り線)			至 帯広市街地 (東方向行き; 上り線)			上下線合計				
	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両 交通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両交 通量 <sup>注3)</sup>	小型車 交通量	大型車 交通量 <sup>注2)</sup>	廃棄物 運搬車両交 通量 <sup>注3)</sup>	全車種 交通量	大型車 混入率 <sup>注4)</sup>
	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	台/時	%
0 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
1 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
2 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
3 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
4 時台	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
5 時台	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
6 時台	8	0	0	4	1	0	12	1	0	13	8
7 時台	130	3	0	14	0	0	144	3	0	147	2
8 時台	87	4	4	8	1	0	95	5	4	104	9
9 時台	7	4	5	4	1	2	11	5	7	23	52
10 時台	7	1	9	7	1	11	14	2	20	36	61
11 時台	9	1	2	1	4	7	10	5	9	24	58
12 時台	3	0	7	6	1	1	9	1	8	18	50
13 時台	6	3	2	8	4	2	14	7	4	25	44
14 時台	5	5	7	4	3	8	9	8	15	32	72
15 時台	12	3	5	7	1	9	19	4	14	37	49
16 時台	6	1	5	9	1	10	15	2	15	32	53
17 時台	11	3	0	13	1	0	24	4	0	28	14
18 時台	7	0	0	9	0	0	16	0	0	16	0
19 時台	1	0	0	8	0	0	9	0	0	9	0
20 時台	1	0	0	4	0	0	5	0	0	5	0
21 時台	2	0	0	1	0	0	3	0	0	3	0
22 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
23 時台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
昼間 12 時間 <sup>注5)</sup>	290	28	46	90	18	50	380	46	96	522	39
24 時間 <sup>注5)</sup>	304	28	46	107	19	50	411	47	96	554	26

注 1) 網掛けは自動車交通騒音・振動を測定した昼間 12 時間に含まれる時間帯を示す。

2) 廃棄物運搬車両を除く大型車交通量を示す。

3) 廃棄物運搬車両は目視で一般廃棄物のバッカー車として区別した車両を示す。

4) 大型車混入率は次式で求めた： $(\text{大型車交通量} + \text{廃棄物運搬車両交通量}) \div \text{全車種交通量} \times 100$ 。

5) 交通量は各時間帯の合計を、大型車混入率は各時間の平均値を示す。

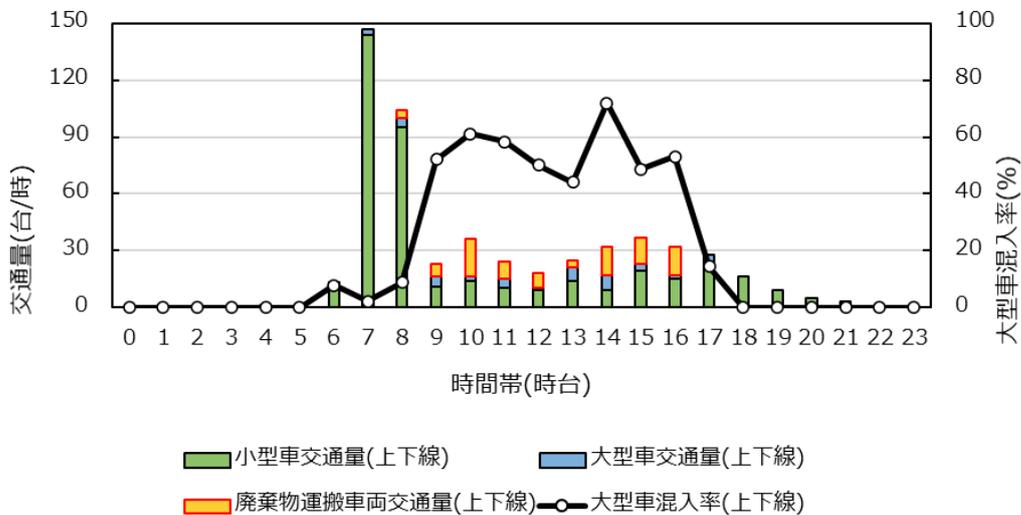


図 4.2.5(4) 交通量調査結果 (SV.5)

## イ. 走行速度

走行速度の調査結果を表 4.2.12 に示す。

上下線を合わせた日平均走行速度はSV.2 で71km/h、SV.3 で70km/h、SV.4 で65km/h、SV.5 で55km/hであった。

表 4.2.12 走行速度の調査結果

単位：km/h

地点	時間帯	平均走行速度 (上下線)
SV.2	昼間 12 時間	71
	24 時間	71
SV.3	昼間 12 時間	70
	24 時間	70
SV.4	昼間 12 時間	65
	24 時間	65
SV.5	昼間 12 時間	52
	24 時間	55

注) 昼間 12 時間は 7 時～19 時とした。

## ウ. 道路断面

道路断面図を図 4.2.6 に示す。各地点とも、2 車線の平面構造道路であった。

### 十勝SV2地点横断面図

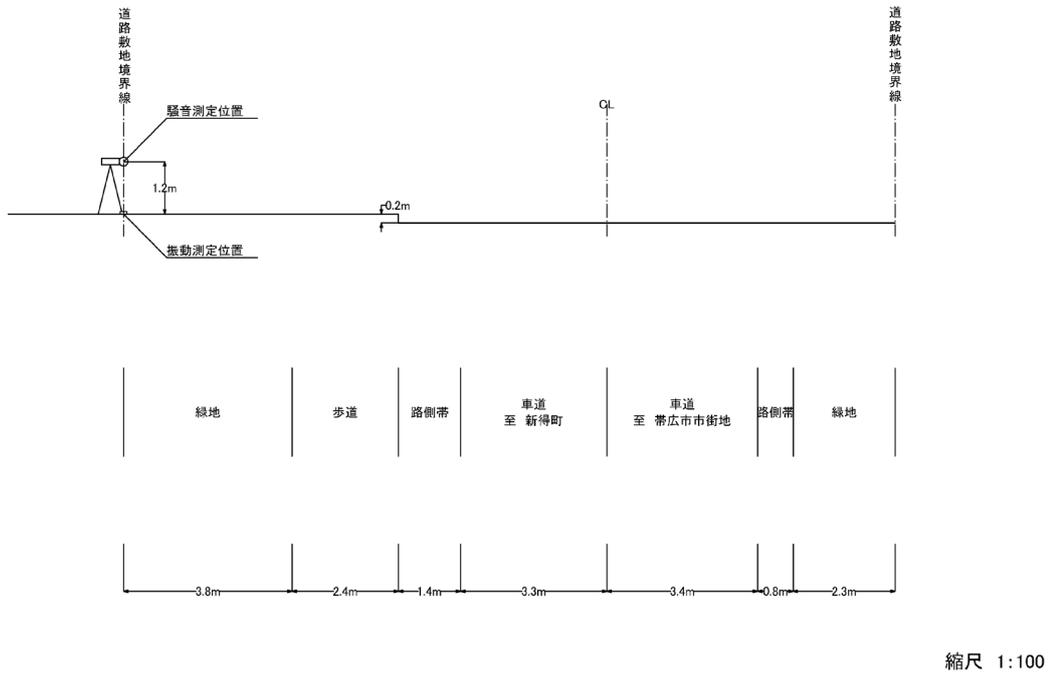


図 4.2.6(1) 道路断面 (SV.2)

### 十勝SV3地点横断面図

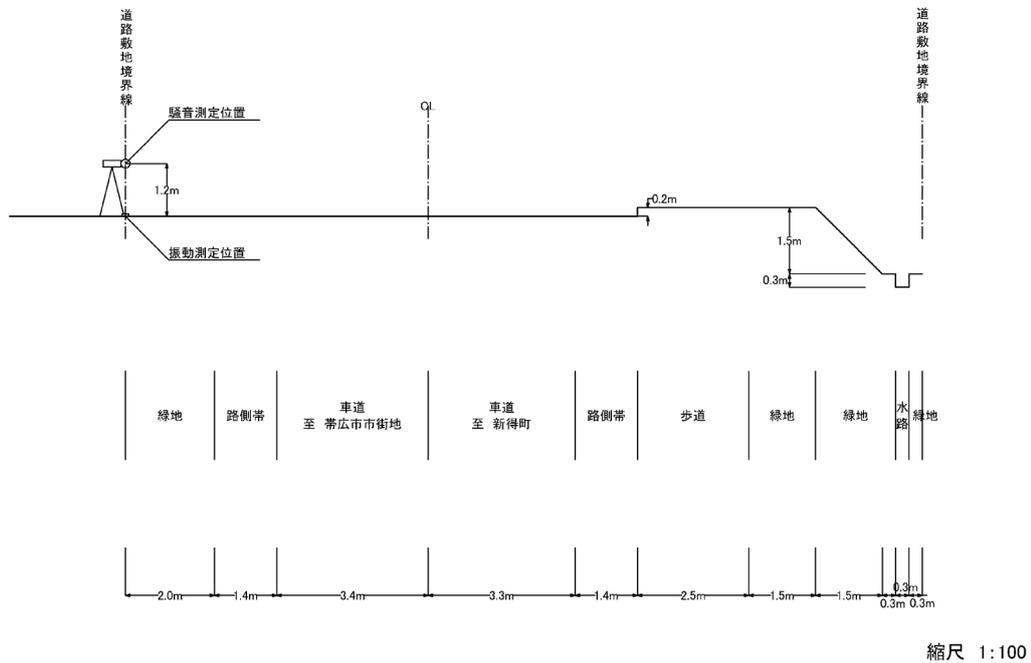


図 4.2.6(2) 道路断面 (SV.3)

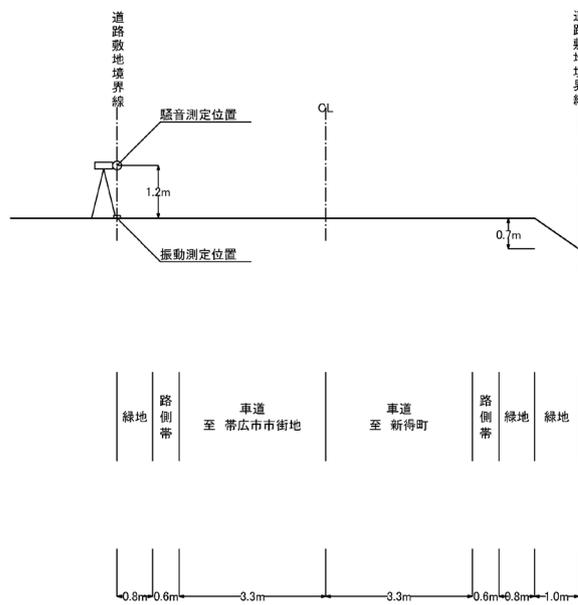
### 十勝SV4地点横断面图



縮尺 1:100

图 4.2.6(3) 道路断面 (SV.4)

### 十勝SV5地点横断面图



縮尺 1:100

图 4.2.6(4) 道路断面 (SV.5)

#### 4.2.2 予測

騒音の予測項目は、表 4.2.13 に示すとおりとした。

表 4.2.13 騒音の予測項目

環境影響要因	予測項目
施設の稼働	・施設稼働（焼却処理施設及び大型・不燃ごみ処理施設）による騒音の影響
廃棄物運搬車両の走行	・廃棄物運搬車両の走行による騒音の影響
工事用車両の走行	・工事用車両の走行による騒音の影響

##### (1) 施設の稼働に伴う騒音

###### 1) 予測項目

予測項目は、施設の稼働に伴う騒音レベル ( $L_5$ ) とした。

###### 2) 予測地域及び予測地点

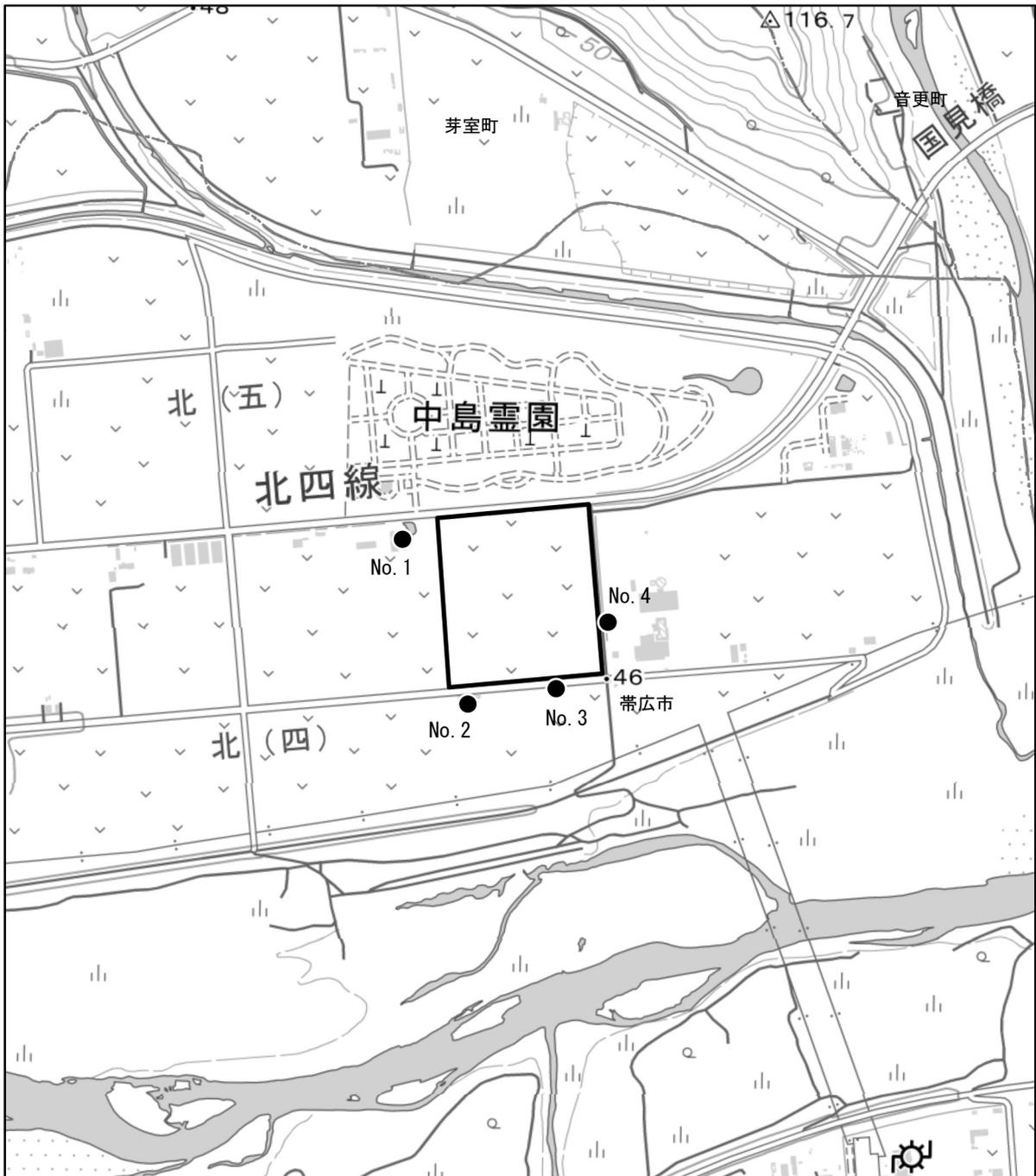
予測地域は建設地周辺とし、予測地点は表 4.2.14 及び図 4.2.7 に示す敷地境界 2 地点及び直近民家 2 地点の合計 4 地点とした。

表 4.2.14 予測地点一覧表

予測地点No.	備考
No.1	直近民家（北側）
No.2	直近民家（南側）
No.3	敷地境界（南側）
No.4	敷地境界（東側）

###### 3) 予測対象時期

予測対象時期は、廃棄物処理施設が定常的に稼働する時期（供用時）とした。



**凡例**

- 市町界
- 建設予定地
- 予測地点 (No. 1~4)



S = 1:10,000



この地図は、「電子地形図(タイル)」(国土地理院)を使用し、株式会社日本技術開発が編集・加工したものである。

図 4.2.7 予測地点位置図 (施設稼働騒音)

#### 4) 予測手法

##### ① 予測手順

施設の稼働に伴う騒音レベルは、各設備機械から発生する騒音レベルを求め、予測地点にて合成した。

予測の手順は図 4.2.8 に示すとおりである。

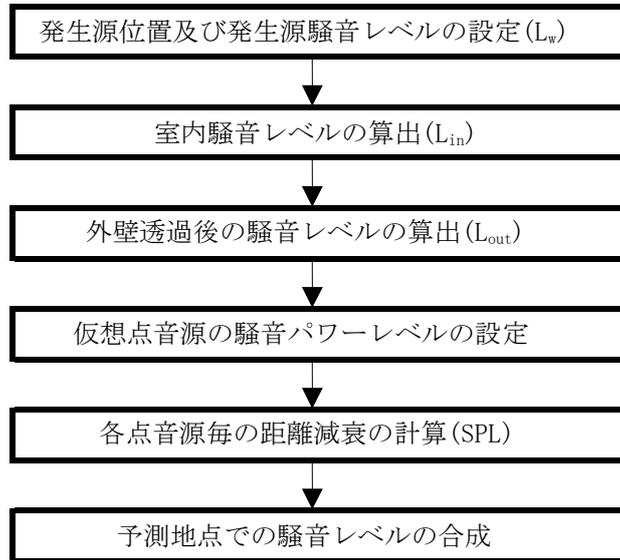


図 4.2.8 施設の稼働に伴う騒音の予測手順

##### ② 予測式

稼働する施設棟の壁面を面音源とみなし、アセス指針に基づき、以下の式を使用して予測地点の騒音レベル (Lin) を合成して算出した。

###### ■ [室内騒音レベルの算出]

発生源から  $r_1$  m 離れた地点における騒音レベルは次式により求められる。

$$L_{in} = Lw + 10 \log_{10} \left( \frac{Q}{4\pi r_1^2} + \frac{4}{R} \right) \quad \dots \dots \dots \text{(式 1)}$$

ここに  $L_{in}$  : 室内騒音レベル (デシベル)

$Lw$  : 各機器のパワーレベル (デシベル)

$Q$  : 音源の方向係数 (床上に音源がある場合=2)

$r_1$  : 音源から室内受音点までの距離

$R$  : 室定数 (m<sup>2</sup>)  $R = S \alpha / (1 - \alpha)$

$S$  : 室全表面積

$\alpha$  : 平均吸音率

ただし、同一室内に複数の音源がある場合には、合成音のパワーレベルは次式による。

$$Lw = 10 \log \left[ \sum_{i=1}^n 10^{Lwi/10} \right] \quad \dots \dots \dots \text{(式 2)}$$

ここに  $Lwi$  : 音源 I に対する受音点の騒音レベル

■ [外壁透過後の騒音レベル ( $L_{out}$ ) の算出]

$$L_{out} = L_{in} - TL - 10 \log Sa / Si \quad \dots \dots \dots \text{(式 3)}$$

ここに  $L_{in}$  : 音源室内外壁側の騒音レベル (デシベル)  
 $L_{out}$  : 受音室内音源側の騒音レベル (デシベル)  
 $TL$  : 間仕切りの透過損失 (デシベル)  
 $Si$  : 間仕切りの表面積 ( $m^2$ )

■ [仮想点音源の騒音パワーレベルの設定]

受音点における壁面からの騒音レベルは、受音点において点音源とみなせる大きさに壁面を分割し、各分割壁の中心に仮想点音源を配置した。

仮想点音源のパワーレベルは次式を用いて算出した。

$$L_w = L_{out} + 10 \log S' + 10 \log \left\{ \frac{1}{2\pi \ell^2} \right\} - \Delta L \quad \dots \dots \dots \text{(式 4)}$$

ここに  $L_w$  : 予測地点における騒音レベル (デシベル)  
 $L_{out}$  : 室外騒音レベル (デシベル)  
 $S'$  : 壁の面積 ( $m^2$ )  
 $\ell$  : 建物外壁から予測地点までの距離 (m)  
 $\Delta L$  : 種々の要因による減衰量 (デシベル)

■ [半自由空間における点音源の距離減衰式]

$$SPL = PWL - 8 - 20 \cdot \log(r) \quad \dots \dots \dots \text{(式 5)}$$

但し、 $SPL$  : 受音点における騒音レベル (デシベル)  
 $PWL$  : 発生源の騒音パワーレベル (デシベル)  
 $r$  : 音源から受音点までの距離 (m)

出典：環境アセスメントの技術 社団法人環境情報科学センター平成 11 年 6 月

■ [騒音レベルの合成]

$$L = 10 \cdot \log_{10} (10^{L1/10} + 10^{L2/10} + \dots \dots \dots + 10^{Ln/10}) \quad \dots \dots \dots \text{(式 6)}$$

但し、 $L$  : 合成された騒音レベル (dB(A))  
 $L_n$  : 発生源  $n$  に対する予測地点の騒音レベル (dB(A))

5) 予測条件

① 騒音パワーレベルの設定

各施設において稼働する機器のうち、大きな騒音の発生源 (音源) とその騒音パワーレベルは表 4.2.15 に示すとおりである。

本予測ではこれらの機器が同時に稼働した場合について予測した。なお、予測にあたっては音源のパワーレベルが合成騒音レベルで与えられているため、それぞれ 1kHz で代表させた。

表 4.2.15(1) 主な機器の騒音レベル (焼却処理施設)

No.	主要な騒音発生機器	騒音レベル (dB)	設置フロア	基数
1	煙突	85 dB	屋根	1 基
2	機器冷却水冷却塔	70 dB	6FL	1 基
3	環境集じん装置	100 dB	5FL	2 基
4	環境集じんファン	81 dB	5FL	1 基
5	ごみクレーン	100 dB	5FL	2 基
6	蒸気復水器	105 dB	5FL	4 基
7	低圧蒸気復水器	95 dB	5FL	6 基
8	押込送風機	95 dB	4FL	2 基
9	タービンバイパス装置	85 dB	4FL	1 基
10	脱気器	80 dB	4FL	2 基
11	脱臭装置送風機	80 dB	4FL	1 基
12	二次送風機	105 dB	4FL	2 基
13	排ガス再循環用送風機	90 dB	4FL	2 基
14	廃熱ボイラ	85 dB	4FL	2 基
15	飛灰貯留槽バグフィルタ	90 dB	4FL	1 基
16	薬剤貯留槽バグフィルタ	90 dB	4FL	1 基
17	活性炭貯留槽用バグフィルタ	90 dB	3FL	1 基
18	再燃バーナ	83 dB	3FL	2 基
19	集じん装置	85 dB	3FL	2 基
20	薬液噴霧装置	85 dB	3FL	4 基
21	計装用空気圧縮機	80 dB	2FL	2 基
22	減温塔用空気圧縮機	80 dB	2FL	2 基
23	雑用空気圧縮機	80 dB	2FL	2 基
24	蒸気タービン	95 dB	2FL	1 基
25	蒸気タービン発電機	93 dB	2FL	1 基
26	助燃バーナ	83 dB	2FL	2 基
27	灰クレーン	95 dB	2FL	1 基
28	非常用発電機	90 dB	2FL	1 基
29	ボイラ給水ポンプ	90 dB	2FL	4 基
30	薬品供給装置	83 dB	2FL	2 基
31	押込送風機	85 dB	2FL	2 基
32	機器冷却水給水ポンプ	90 dB	1FL	2 基
33	混練機	85 dB	1FL	1 基
34	再利用水ポンプ	80 dB	1FL	1 基
35	脱気器給水ポンプ	90 dB	1FL	4 基
36	燃焼装置駆動用油圧装置	90 dB	1FL	2 基
37	燃料移送ポンプ	80 dB	1FL	1 基
38	噴射水ポンプ	80 dB	1FL	2 基
39	誘引送風機	102 dB	1FL	2 基

備考 1) 騒音レベル及び機器の位置は、メーカーヒアリング結果を参考に設定した。

備考 2) 焼却処理施設の機器は 24 時間稼働とした。

表 4.2.15(2) 主な機器の騒音レベル (大型・不燃ごみ処理施設)

No.	主要な騒音発生機器	騒音レベル (dB)	設置フロア	基数
1	破砕物搬送コンベヤ	88 dB	4FL	1 基
2	破砕物磁選機	92 dB	4FL	1 基
3	不燃ごみクレーン	100 dB	4FL	1 基
4	破砕アルミ選別機	83 dB	3FL	1 基
5	破砕物選別機	85 dB	3FL	1 基
6	大型可燃ごみ粗破砕機	103 dB	2FL	1 基
7	大型可燃ごみ破砕機	98 dB	2FL	1 基
8	環境集じん装置排風機	95 dB	2FL	1 基
9	雑用空気圧縮機	80 dB	2FL	2 基
10	排風機	92 dB	2FL	1 基
11	不燃ごみ破袋機	95 dB	2FL	1 基
12	粗破砕機防爆用送風機	95 dB	1FL	1 基
13	粗破砕物搬送コンベヤ	88 dB	1FL	1 基
14	大型可燃ごみ受入供給コンベヤ	101 dB	1FL	1 基
15	大型可燃ごみ破砕物搬送コンベヤ	88 dB	1FL	1 基
16	大型不燃・不燃ごみ受入供給コンベヤ	101 dB	1FL	1 基
17	不燃ごみ受入供給コンベヤ	101 dB	1FL	1 基
18	高速回転破砕機	120 dB	1FL	1 基
19	不燃ごみ粗破砕機	95 dB	1FL	1 基
20	プラント用水給水ポンプ	78 dB	1FL	2 基

備考 1) 騒音レベル及び機器の位置は、メーカーヒアリング結果を参考に設定した。

備考 2) 大型・不燃ごみ処理施設の機器は、8～17 時に稼働とした。

② 建物材質の性状

建屋壁面はコンクリート壁を基本として設定した。

③ 暗騒音

暗騒音レベルは、表 4.2.16 に示す現地調査結果とした。

表 4.2.16 暗騒音レベル

地点	項目		時間区分	等価騒音レベル (L <sub>Aeq</sub> ) ※1)	騒音レベル (L <sub>5</sub> ) ※2)
SV.1 (建設地)	昼間	朝		51.5dB	54.0dB
		昼間			56.1dB
		夕			53.1dB
	夜間	夜間	45.9dB	51.7dB	

※1) 等価騒音レベル (L<sub>Aeq</sub>) の時間区分は、昼間：6時～22時、夜間：22時～6時

※2) 騒音レベル (L<sub>5</sub>) の時間区分は、朝：6時～8時、昼間：8時～19時、夕：19時～22時、夜間：22時～6時

6) 予測結果

施設稼働騒音の予測結果を表 4.2.17 及び図 4.2.9 に示す。

予測結果は、直近民家 (No.1~2) において、昼間は 51.7~52.2dB で増加レベルは 0.2~0.7dB、夜間は 46.2~46.5dB で増加レベルは 0.3~0.6dB と予測された。

また、敷地境界 (No.2~3) では、朝は 55.4~55.7dB で増加レベルは 0.4~0.7dB、昼は 57.8~58.1dB で増加レベルは 1.7~2.0dB、夕は 53.6~53.9dB で増加レベルは 0.5~0.8dB、夜は 52.3~52.8dB で増加レベルは 0.6~1.1dB と予測された。

表 4.2.17(1) 施設稼働騒音の予測結果

予測地点		時間区分	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) : dB			
			現況騒音	寄与レベル	予測値	増加レベル
No.1	直近民家 (北側)	昼間	51.5	38.5	51.7	0.2
		夜間	45.9	34.6	46.2	0.3
No.2	直近民家 (南側)	昼間	51.5	44.2	52.2	0.7
		夜間	45.9	37.7	46.5	0.6

備考 1) 時間区分は、昼間：6~22時、夜間：22時~6時

表 4.2.17(2) 施設稼働騒音の予測結果

予測地点		時間区分	騒音レベル ( $L_5$ ) : dB			
			現況騒音	寄与レベル	予測値	増加レベル
No.3	敷地境界 (南側)	朝	54.0	43.5	54.4	0.4
		昼間	56.1	53.5	58.1	2.0
		夕	53.1	43.5	53.6	0.5
		夜間	51.7	43.5	52.3	0.6
No.4	敷地境界 (東側)	朝	54.0	46.3	54.7	0.7
		昼間	56.1	52.7	57.8	1.7
		夕	53.1	46.3	53.9	0.8
		夜間	51.7	46.3	52.8	1.1

備考 1) 時間区分は、朝：6~8時、昼間：8~19時、夕：19~22時、夜間：22~6時

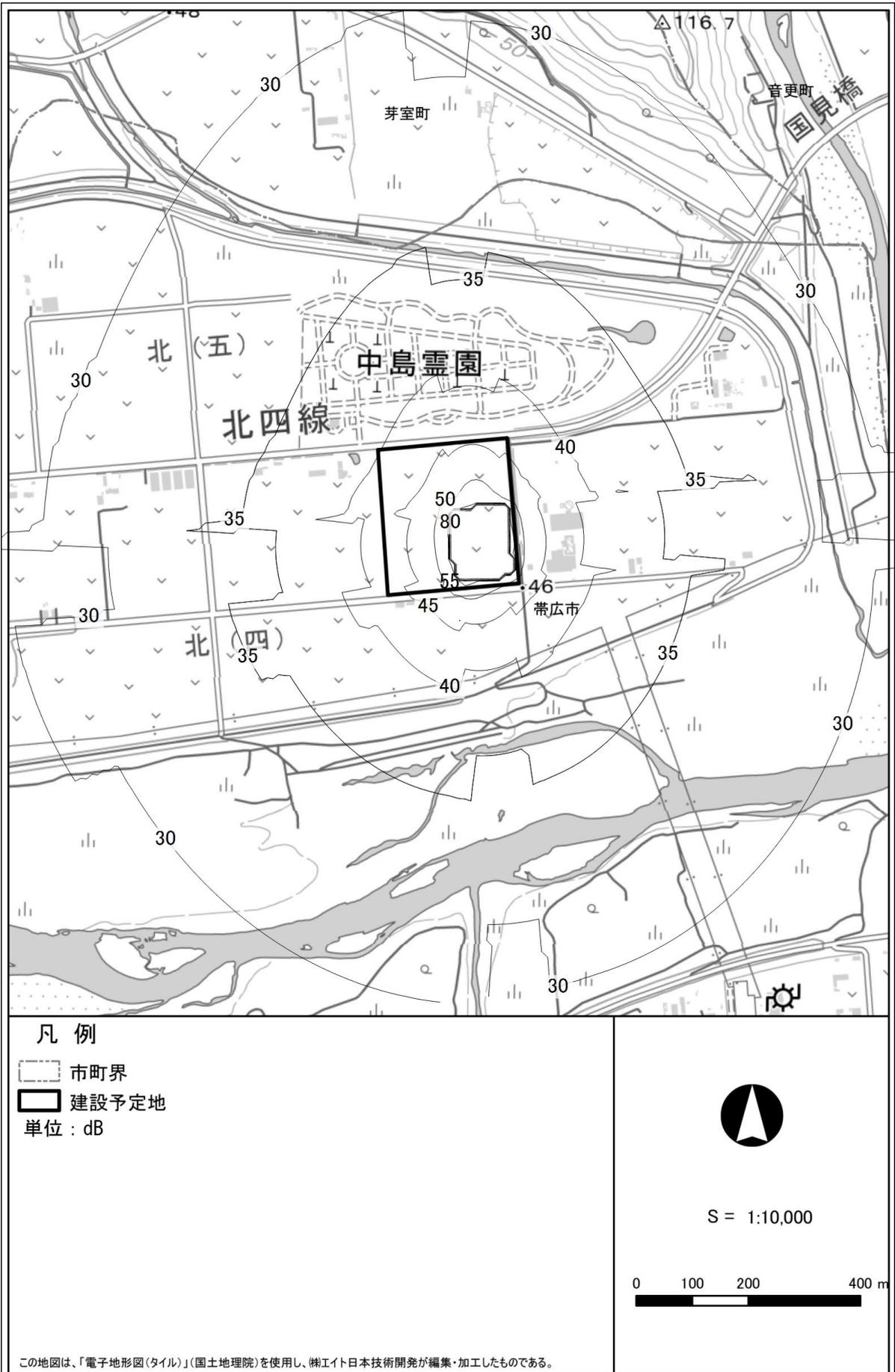


図 4.2.9(1) 施設の稼働による騒音寄与値 (昼間)

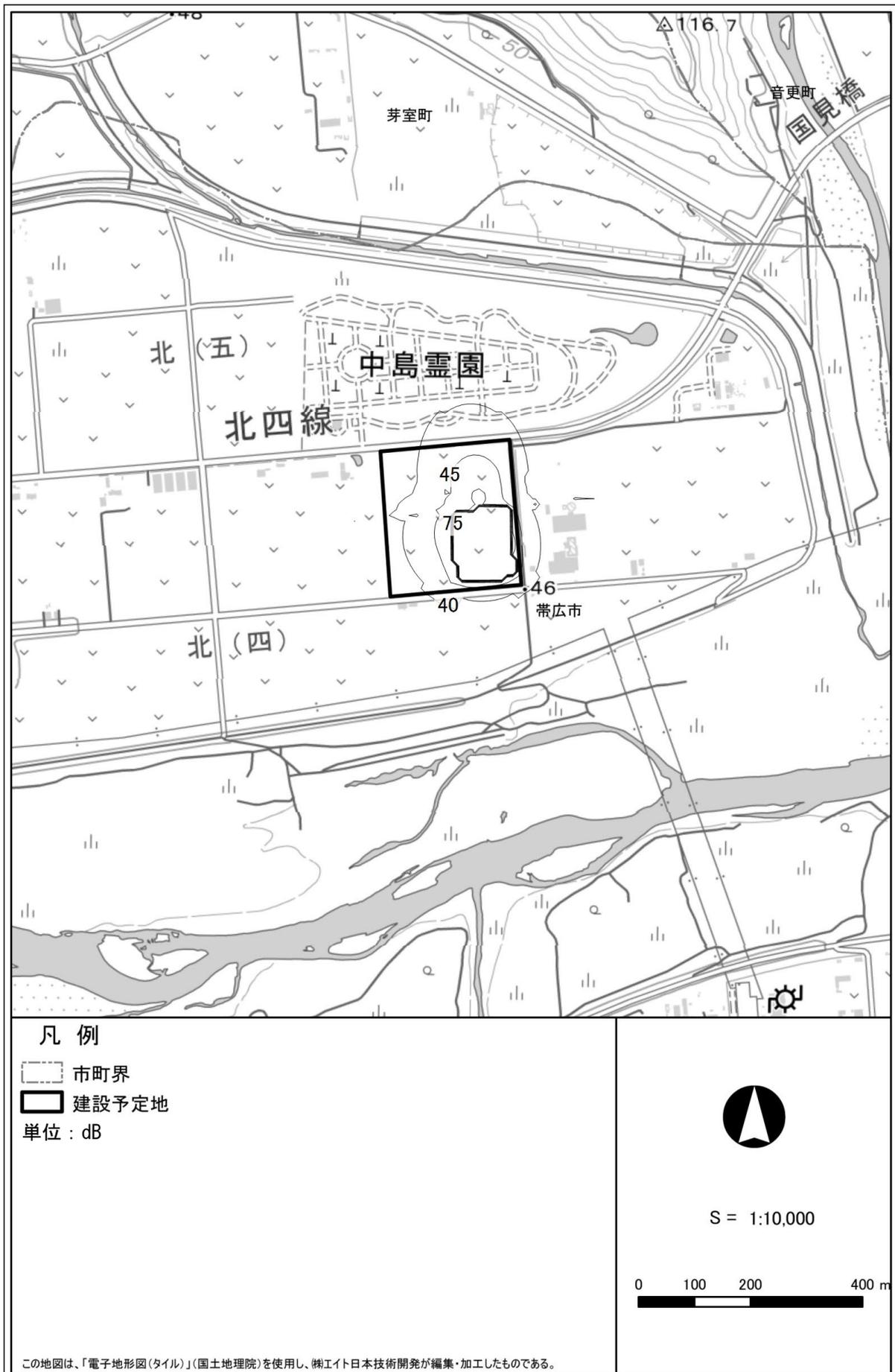


図 4.2.9(2) 施設の稼働による騒音寄与値(夜間)

(2) 廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音

1) 予測項目

予測項目は、廃棄物運搬車両の走行に伴う等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) とした。

2) 予測地域及び予測地点

予測地域は廃棄物運搬車両の運搬ルート沿道の範囲とし、予測地点は図 4.2.10 に示す3地点とした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、廃棄物処理施設が定常的に稼働する時期（供用時）とした。

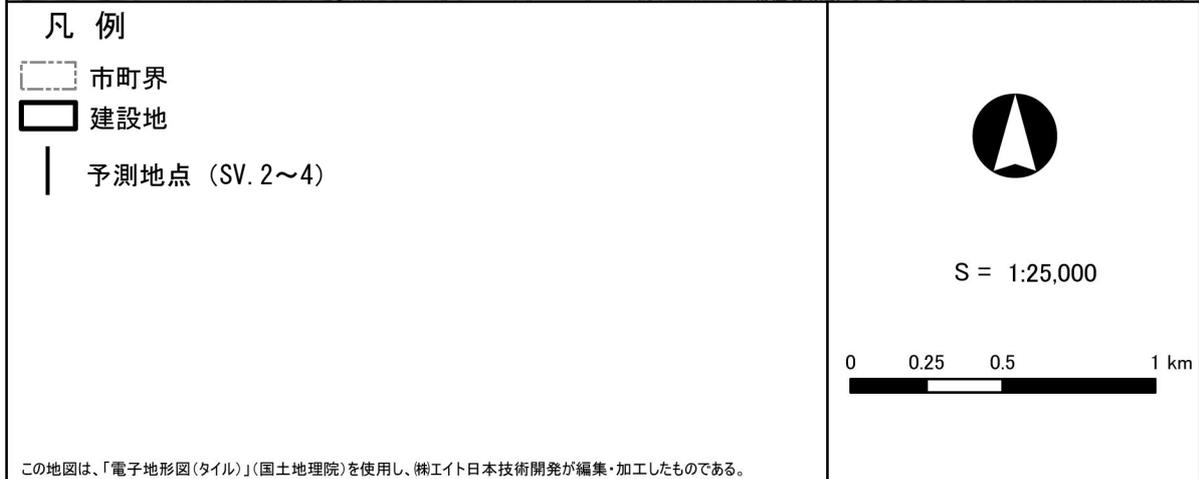


図 4.2.10 予測地点位置図 (廃棄物運搬車両、工事用車両)

#### 4) 予測手法

##### ① 予測手順

廃棄物運搬車両の走行に伴う騒音レベルは、「道路環境影響評価の技術手法 平成 24 年度版」に基づき、現況の騒音レベルに廃棄物運搬車両による騒音レベルを加味して予測した。

予測の手順は図 4.2.11 に示すとおりである。

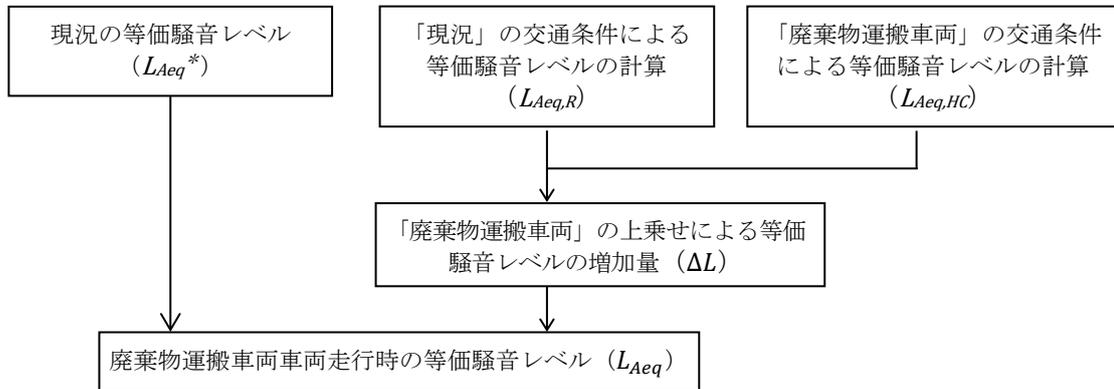


図 4.2.11 予測手順

##### ② 予測式

「道路環境影響評価の技術手法 平成 24 年度版」に基づき、以下の予測式を用いた。

$$L_{Aeq} = L_{Aeq}^* + \Delta L$$
$$\Delta L = 10 \log_{10} \left\{ \left( 10^{L_{Aeq,R}/10} + 10^{L_{Aeq,HC}/10} \right) / 10^{L_{Aeq,R}/10} \right\}$$

ここで、

- $L_{Aeq}$  : 廃棄物運搬車両走行時の等価騒音レベル (dB)
- $L_{Aeq}^*$  : 現況の等価騒音レベル (dB)
- $\Delta L$  : 廃棄物運搬車両の走行により増加する等価騒音レベル (dB)
- $L_{Aeq,R}$  : 現況の交通量から ASJ RTN-Model 2018 を用いて求められる等価騒音レベル (dB)
- $L_{Aeq,HC}$  : 廃棄物運搬車両の交通量から、ASJ RTN-Model 2018 を用いて求められる等価騒音レベル (dB)

なお、 $L_{Aeq,R}$ 、 $L_{Aeq,HC}$ については、「道路環境影響評価の技術手法 4.騒音 4.1 自動車の走行に係る騒音 (令和 2 年度版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人土木研究所)に基づき、日本音響学会による道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2018”を用いて求めた。

5) 予測条件

① 交通量

予測に用いた交通量は、表 4.2.18 に示すとおり設定した。

表 4.2.18 予測に用いた交通量

項目 予測地点	現況交通量 (台/昼間 12h)		廃棄物運搬車両 (台/9h)
	大型車	小型車	大型車
SV.2	1,689	2,744	113
SV.3	2,735	5,065	881
SV.4	2,890	5,799	185

備考) 廃棄物運搬車両は 8~12 時、13~18 時に均等に配分した。

② 走行速度

予測に用いた走行速度は、法定速度 (60km/h) を用いた。

③ 道路条件

道路構造及び予測位置は、現況と同様とした (図 4.2.6 参照)。

6) 予測結果

廃棄物運搬車両騒音の予測結果を表 4.2.19 に示す。

予測結果は 70.2~75.3dB の範囲であり、増加レベルは 0.6~0.9dB と予測された。

表 4.2.19 廃棄物運搬車両騒音の予測結果

地点	時間区分	現況値 (dB)	予測値 (dB)	増加 レベル
SV.2	昼間	69.3	70.2	0.9
SV.3	昼間	74.6	75.3	0.7
SV.4	昼間	71.9	72.5	0.6

備考) 時間区分は、昼間： 6~22 時

(3) 工事用車両の走行に伴う騒音

1) 予測項目

予測項目は、工事用車両の走行に伴う等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) とした。

2) 予測地域及び予測地点

予測地域及び予測地点は廃棄物運搬車両と同じとした。

3) 予測対象時期

予測対象時期は、工事期間中とした。

4) 予測手法

① 予測手順

廃棄物運搬車両の騒音と同じとした。

② 予測式

廃棄物運搬車両の騒音と同じとした。

5) 予測条件

① 交通量

予測に用いた交通量は、表 4.2.20 に示すとおり設定した。

表 4.2.20 予測に用いた交通量

項目 予測地点	現況交通量 (台/12h)		工事用車両 (台/日)	工事用車両 (台/日)	工事用車両 (台/日)
	大型車	小型車	大型車	大型車	大型車
SV. 2	1,689	2,744	50	100	200
SV. 3	2,735	5,065	50	100	200
SV. 4	2,890	5,799	50	100	200

備考) 工事用車両は 8~12 時、13~17 時に均等に配分した。

② 走行速度

廃棄物運搬車両の騒音と同じとした。

③ 道路条件

廃棄物運搬車両の騒音と同じとした。

## 6) 予測結果

工事用車両騒音の予測結果を表 4.2.21 に示す。

予測結果は、工事用車両が 50 台/日の場合、騒音レベルは 69.4～74.7dB で、増加レベルは 0.1dB と予測された。工事用車両が 100 台/日の場合、騒音レベルは 69.5～74.7dB で、増加レベルは 0.1～0.2dB と予測された。工事用車両が 200 台/日の場合、騒音レベルは 69.8～74.9dB で、増加レベルは 0.3～0.5dB と予測された。

表 4.2.21 工事用車両騒音の予測結果

時間区分	地点	工事用車両 (台/日)	現況値 (dB)	予測値 (dB)	増加 レベル
昼間	SV. 2	50	69.3	69.4	0.1
	SV. 3		74.6	74.7	0.1
	SV. 4		71.9	72.0	0.1
昼間	SV. 2	100	69.3	69.5	0.2
	SV. 3		74.6	74.7	0.1
	SV. 4		71.9	72.0	0.1
昼間	SV. 2	200	69.3	69.8	0.5
	SV. 3		74.6	74.9	0.3
	SV. 4		71.9	72.2	0.3

備考) 時間区分は、昼間：6～22時

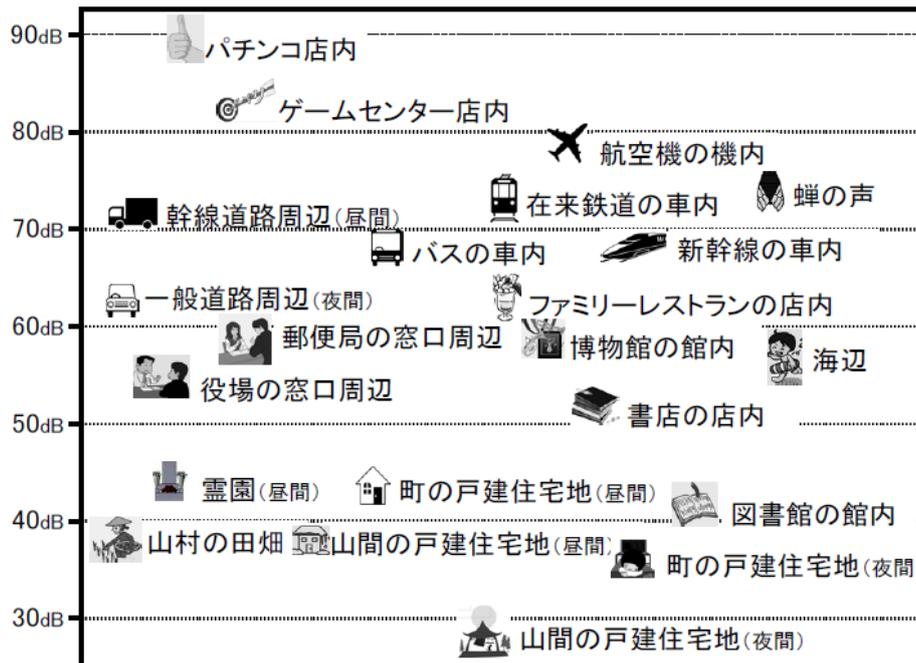
### 4.2.3 影響保全目標

環境保全目標は、表 4.2.22 に示すとおりに設定した。また、騒音レベルの目安を図 4.2.12 に示す。

なお、廃棄物運搬車両の環境保全目標は、騒音規制法に基づく要請限度を遵守しつつ、実施可能な範囲において道路交通騒音レベルの低減に努めるものとする。

表 4.2.22 騒音に係る環境保全目標

項目	予測地点	規制基準等	環境保全目標
施設稼働騒音	直近民家	環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」	C 地域： 昼間 60dB 以下、夜間 50dB 以下
	敷地境界	騒音の自主基準値	朝・夕 60dB 以下、昼間 60dB 以下、夜間 60dB 以下
廃棄物運搬車両騒音	SV. 2～SV. 4	騒音規制法に基づく「道路交通騒音に係る要請限度」	幹線交通を担う道路に近接する区域 昼間 75dB 以下
工事用車両騒音	SV. 2～SV. 4	騒音規制法に基づく「道路交通騒音に係る要請限度」	幹線交通を担う道路に近接する区域 昼間 75dB 以下



出典) 全国環境研協議会 騒音小委員会

図 4.2.12 騒音の目安 (地方都市・山村部用)

#### 4.2.4 影響の分析

##### 1) 影響の回避または低減に係る分析

本事業においては、表 4.2.23 に示す環境保全対策を実施する計画である。

表 4.2.23 騒音に係る環境保全対策

項目	環境保全対策
施設稼働騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>各設備、装置とも原則として室内に収納し、施設外への騒音の伝播を防止する。</li> <li>低騒音型の設備機器を採用し騒音の低下を図る。</li> <li>施設稼働騒音の影響を低減するため、必要に応じて防音壁等を設置する。</li> </ul>
廃棄物運搬車両騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物運搬車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。</li> <li>廃棄物運搬車両が集中しないよう搬入時期、時間の分散化に努める。</li> </ul>
工事用車両騒音	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。</li> <li>工事用車両が集中しないよう搬入時期、時間の分散化に努める。</li> </ul>

##### 2) 環境保全目標との整合性に係る分析

騒音の予測結果は、表 4.2.24 に示すとおり、いずれも騒音の環境保全に係る基準又は目標を下回っている。

以上のことから、環境保全に係る基準又は目標との整合性は図られているものと評価する。

表 4.2.24 環境保全目標との整合性に係る評価結果

単位：dB

項目	予測地点	時間区分	現況騒音	予測値	環境保全目標
施設稼働騒音 ( $L_{Aeq}$ )	No.1 (直近民家北側)	昼間	52	52	60 以下
		夜間	46	46	50 以下
	No.2 (直近民家南側)	昼間	52	52	60 以下
		夜間	46	47	50 以下
施設稼働騒音 ( $L_5$ )	No.3 (敷地境界南側)	朝	54	55	60 以下
		昼間	56	58	60 以下
		夕	53	54	60 以下
		夜間	52	52	60 以下
	No.4 (敷地境界東側)	朝	54	55	60 以下
		昼間	56	58	60 以下
		夕	53	54	60 以下
		夜間	52	53	60 以下
廃棄物運搬車両騒音 ( $L_{Aeq}$ )	SV.2	昼間	69	70	75 以下
	SV.3	昼間	75	75	75 以下
	SV.4	昼間	72	73	75 以下
工事用車両騒音 ( $L_{Aeq}$ )	SV.2	昼間	69	70	75 以下
	SV.3	昼間	75	75	75 以下
	SV.4	昼間	72	72	75 以下

備考) 工事用車両騒音の予測値は 200 台のケースである。

### 3) 事後調査の必要性

予測手法は、科学的知見に基づき設定されたものであり、これまでの使用実績も豊富であることから、予測の不確実性は小さいものと考えられる。また、効果に係る知見が明確で実効性の高い環境保全対策を実施することから、事後調査は実施しないこととする。